

平成4年度 BELCA賞 表彰式

会長挨拶

BELCA会長 吉野照蔵

会長の吉野でございます。表彰式の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ、受賞関係者並びに審査委員の方々には、ご出席を賜り誠にありがとうございました。

さて、平成4年度 BELCA 賞は、今回が第2回目の公募でありましたが、全国から優秀な作品を多数ご応募いただきました。これも応募関係者の、本賞の趣旨についての深いご理解の賜物と存じます。また、審査に当たりましては、審査委員の方々が大変ご苦心されたとのお話を伺っており、委員の方々には、厚くお礼申し上げます。



表彰されました建築物が、今後も、我が国の良質な社会ストックの形成の範となるものと確信しております。

受賞者の皆様、心からお慶び申し上げます。

審査委員長挨拶

審査委員会副委員長 岸谷孝一

本賞——建築物の維持保全を企業活動の一環として、良質な社会資本となる建築物の関係者を表彰する制度である BELCA 賞は、改修によって画期的な活性化を図った優秀な建築物を表彰するベストリフォーム・ビルディング部門と、長年にわたり継続的に維持保全を実施している優秀な建築物を表彰するロングライフ・ビルディング部門よりなり、我が国における良好な建築物のストック形成に寄与することを目的として昨年度創設され、今回が第2回目の表彰です。

今回の公募により応募されました物件は、両部門ともに昨年度に引き続き、全国から、優秀で、かつ、建築に携わる者としては、魅力的なものが多く確認できました。



それ故、審査は書類選考による第1次審査より困難を極めました。が、現地審査による第2次審査の結果をもって各部会ごとに推薦物件を選出し、審査委員全員の合議によりこれから発表するベストリフォーム・ビルディング部門4作品、ロングライフ・ビルディング部門6作品を、本

年度の表彰物件として選出しました。選考経過につきましては、表彰に続き、各部会の主査より公表いたします。

今回、残念ながら入選からもれました作品も決して表彰したものに劣らない優秀な物件が多く、これらを支える我が国の創造性豊かな設計思想、

高度な施工技術、そしてそれに関わる管理者の志気の高さには改めて敬服いたしました。

また、現地調査においてご協力していただきました受審者の方々には、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

平成4年度 **BELCA 賞** ロングライフ・ビルディング部門

LLB 専門部会主査 **三井所清典**

1 選考経過

ロングライフ・ビルディング部門の応募物件の内容は、事務所ビル、事務所と劇場等の複合ビル、ホテル、劇場、会議場、大学キャンパスのチャペル、住宅及び展望タワーと多様であった。

審査は評価基準を確認することから始め、基本的に昨年同様とすることが了承された。

次に提出された書類とスライドによって第1次審査を行った。

第2次審査は現地審査で、全ての物件を全委員が現地に赴き審査した。現地では、経年した建物の維持保全の状況と管理する人々に具体的に接し、書類では読めない誇りや誠意を実感することができた。ここでは各審査員がメモとして評価を記録するにとどめ、再び東京で全員出席の審査会を開いた。各物件ごとに慎重に論評した上で投票を行い、まず上位4件を候補として推薦し、5位以下の上位3件について再投票し、2件に絞った。その2件について審議と投票を重ねたが、デザイン性と堅実性の視点の違いから、LLBとしては優劣つけ難く、この2件とも候補とし、合計6件を推薦することとした。



2 評価基準

(1) 評価の視点

- ① 良好な建築ストックとして、デザイン及び構造上の価値があるかを評価する。
- ② 建物の維持管理の状況（体制と対策）が良好かどうかを評価する。
- ③ 建物の維持管理に対して、設計上の配慮がなされている。また、それがロングライフに役立っているのかを評価する。
- ④ 地域に根づいた施設になっているかを評価する。

(2) 具体的な評価項目

- ① 良い建築であること（改修後もデザインクオリティーが失われていないこと）
- ② 基本的に、建てられた状況で現在も使われ

ていること

- ③ このまま更に長期にわたって、現状維持の状況で使う意志がオーナー側にあること
- ④ テナントや居住者が、当該建物に満足していること（使いにくくても、満足している場合もある）
- ⑤ ビル管理体制の面で、建物の保全に対して努力が大いに認められること（管理の面です

さんでないこと。将来保全状況の悪化が予想されないこと）

- ⑥ 建築及び設備・構造上、重大な欠陥が認められないこと
- ⑦ 地震・火災に対して安全な対策が講じられていること
- ⑧ 地域の人々に親しまれていること
- ⑨ 地域の人々の誇りとなっていること

平成4年度 **BELCA 賞** ベストリフォーム・ビルディング部門

BRB 専門部会主査 **守屋秀夫**

1 選考経過

ベストリフォーム・ビルディング部門の今年度の応募物件は、審査の基準がある程度明らかになったために的外れの応募が少なくなり、内容は、明治中期に竣工したものから昭和50年代のものまでを含み、事務所、店舗、病院、展示場など多彩であった。

審査は、まず評価基準を確認することから始めた。この基準は昨年度の審査を通じて明らかにしたものであるが、今年度はこれを一応の目安とし、この他にも優れた点があれば適宜基準を修正するものとして、審査を進めることとした。

次に、提出された書類とスライドによって第1次審査を行った。第2次審査は現地での確認を数人ずつの委員で行った。改めて説明を聞いたり、実際に対象の建物を訪ねてみると、書類では気がつかなかった優れた点を新たに発見したり、出来栄の程度や周辺環境との関係などがよく理解されて、現地確認の重要性を痛感した。

視察後の審査会で現地視察の報告をもとに討議を行った結果、全委員の賛同を得た4件を表彰



の候補として推薦することとした。

2 評価基準

(1) 次の項目を満足していること

- ① 古い建物を十分に生かしているのか
- ② 改修の結果、現在にふさわしい機能をもっているのか
- ③ 改修の結果、デザインの的に優れたものになっているのか
- ④ 改修の結果、周囲の環境に調和しているのか

(2) 次の項目のいずれかに優れた工夫が見られる必要がある

- | | |
|------------------------|-------------|
| ① 新旧デザイン部分の調和 | ③ 著しい環境の改善 |
| ② 改築ではなく、改修としたことの積極的意味 | ④ 維持管理のしやすさ |
| | ⑤ 施工法 |

審査委員会の構成及び委員

委員長	芦原義信（東京大学名誉教授）
副委員長	岸谷孝一（日本大学理工学部建築学科教授）
特別委員	梅野捷一郎（建設省大臣官房審議官）
	谷口哲彦（BELCA 専務理事）
L L B 専門部会 委員	三井所清典（芝浦工業大学建築学科教授）
	高橋公子（日本女子大学家政学部住居学科教授）
	猪股亀三郎（東山興業㈱代表取締役社長）
	犬塚恵三（㈱建築設備設計研究所代表取締役所長）
	小倉善明（㈱日建設計常務取締役）
	佐久間俊次（大成建設㈱常務取締役建築本部本部長）
	成田好将（三機工業㈱取締役設計本部長）
	仲田潔（㈱ピーエーシー技術士事務所代表取締役会長）
	福田守宏（清水建設㈱専務取締役東京支店支店長）
	宮恭（日本メックス㈱代表取締役社長）
	村尾成文（㈱日本設計取締役副社長）
	渡邊武揚（㈱関電工取締役営業本部副本部長）
B R B 専門部会 委員	守屋秀夫（千葉大学工学部建築学科教授）
	中原信生（名古屋大学工学部建築学科教授）
	石垣肇（㈱京王プラザホテル）
	石福昭（早稲田大学理工学部建築学科教授）
	岡野節壽（日本電設工業㈱取締役東京支店副支店長）
	須藤祥夫（三菱地所㈱取締役第一建築部長）
	野口哲（新菱冷熱工業㈱代表取締役副社長）
	降幡廣信（㈱降幡建築設計事務所代表取締役所長）
	牧英二（㈱日建設計代表取締役社長）
	松井家弘（㈱大林組取締役建築生産本部副本部長）
	村松映一（㈱竹中工務店総本店取締役設計本部長）
	安富重文（鹿島建設㈱取締役設計・エンジニアリング総事業本部副本部長）

平成4年度 BELCA 賞受賞の皆様



国立京都国際会館



東京証券会館



東京女子大学
善福寺キャンパス



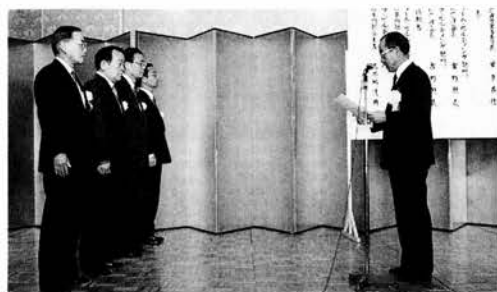
日本生命日比谷ビル



百十四ビル



ホテルオークラ本館



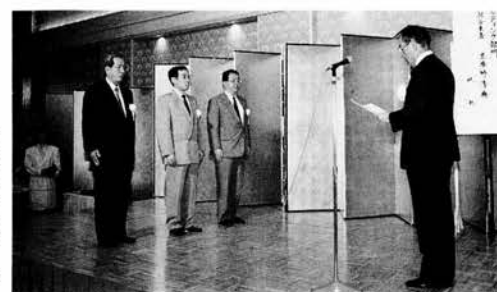
小平記念
東京国立病院



函館ヒストリープラザ



ホテル
ナゴヤキャッスル



ROKKO
23